



# FASHION NEWS EXPRESS **BB**

# 11

2020. 11. 10  
RELEASE



INFASWAVE

7-20-6 Roppongi Minato-ku Tokyo 106-0032

TEL. 03-3746-3323 FAX. 03-3408-5549

URL. <http://fashionnews.co.jp> E-MAIL. [info@fashionnews.co.jp](mailto:info@fashionnews.co.jp)

## Trend Analysis

2020-2021 秋冬 x 90年代、ブルジョワ・スタイルの違いとは？

### Back to the 90s - Dandyism -



2020-2021 秋冬は“マスキュリン”や“ブリティッシュ”“ヒッピー”といったテイストの異なるスタイルが共存している。エドワーディアンやヴィクトリアンなどのクラシカルな装飾を施した“ブルジョワ”スタイルもまた、今季のトレンドに欠かせない要素の一つだ。ここで改めて過去のトレンドを振り返ってみると、90年代にも“DANDYISM(ダンディズム)”と呼ばれる宮廷由来のスタイルがトレンドに浮上していた。ここでいう“ダンディズム”とは19世紀初頭のバッキンガム宮殿周辺で派生した、フリルやレースを飾ったロマンティックな貴族のスタイル。そこにはかっちりとした肩幅のマスキュリンルックも含まれる。

番組では「1993-1994 秋冬トレンド・アナリシス」の中から、この“ダンディズム”にフォーカス。今季と90年代のトレンドを見比べることで、次期ファッションの行方が見えてくるかもしれない。

#### [STYLE]

**Dandyism**：19世紀初頭、ロンドンのバッキンガム宮殿周辺に派生したファッションナブルなグループが時代のおしゃれ感覚をリードする存在として注目された。彼らはのちに“ダンディー軍団”と呼ばれた。“ダンディー”の本来の意味は独自性で、19世紀のファッションがクラシックからロマン主義へと転換した時期に、一風変わったロマン主義の体現者として現れた。

**Victorian**：“ヴィクトリアン”は、“ダンディズム”が出現した時代のファッションのムードを表現するスタイルの一つ。ブルジョワの台頭、平等主義といった時代の流れの中で、大衆を圧する力を失った貴族たちの退廃美あふれる感覚を当時流行の紳士服、宮廷風の腰の張ったボリュームのあるドレスなどで表現している。ベルベットなどの高級な素材を使い、フリルやレースの装飾で、フェミニン志向をよりドラマティックに演出しているのが特徴。

**Edwardian**：1901年、エドワード7世の即位によって、ファッションが“ヴィクトリアン”から“エドワーディアン”に移行。“エドワーディアン”はダンディーだったエドワード7世のフィットしたロングジャケットに細身のパンツを組み合わせた今世紀初頭のメンズスタイルからヒントを得ている。エドワーディアン調の華麗なスーツのジャケットはヴィクトリア時代の丈の長さを引き継ぎ、4つボタン、または5つボタンのVゾーンの小さな肩幅の狭いシルエットが主流。1993-1994秋冬コレクションでは、エドワーディアン・エイジの服装の特徴を忠実に生かしたものを中心に、現代風のアレンジを加えたシルエットが登場した。全体的にはルダングトのイメージを自由に展開したスタイルで構成されている。

**Dandy Look**：メンズライクなスタイルに、クラシックな持ち味が復活している。1930～1940年代のスタイルをカバーし、パンツスタイルはストライプなどのメンズ素材を多用しているのが特徴。

**Military**：ダンディズムの流れを端的に表現しているのが“ミリタリー”。軍服という最も男性的なアイテムをアレンジして、女性の美しさをリリカルに演出している。そのモチーフは1930～1940年代のスタイルを中心に、フランス革命から第二次世界大戦まで、時代や国をまたいで広範囲から集められている。しかし、トレンドの主流となっているのはカジュアルなGIルックではなく、機能美を追求した正統派イギリス軍風。モールや肩章といったディテールを取り入れたデザインも見られた。

#### [ITEM]

**Manteau**：19世紀初頭までは女性の外套はマント型やショール型が一般的だった。マントは織物の毛質由来の形態を保ちつつ、広く着用されている。

**Full-length Coat**：くるぶしまでの丈の長いビッグコート。メンズっぽいテラードスタイルやベルトでウエストをシェイプさせ、たつぷりとフレアを効かせたデザインがポイント。

**Redingote**：18世紀の終わり頃、パリの街に出現した“ルダングト”と呼ばれる大きな外套は、イギリスで着用されていた乗馬用の外套がルーツ。

**Spencer Jacket**：19世紀末から20世紀初頭に婦人や子どもが着用した、身体にぴったりフィットした丈の短いジャケット。

**Oblique Line**：“オブリーク”は斜めの意味で、前見頃の打ち合わせが斜めになった上着や、斜め線をテーマとしたドレスのデザインにも見られる。

**Corset / Crinoline**：体型を整えるためのコルセットやクリノリンは、かつて婦人用下着だった。ランジェリー・ファッションの台頭により、アウトターウェア・ファンデーションとしてその装飾性が見直されている。

\*今月の新番組を紹介します。2020年11月10日送信開始。  
ご覧になりたい番組名をクリックしてください。

new

## Collection

パリ初のデジタルファッションウィーク始動

### 2020-2021 Fall/ Winter PARIS HAUTE COUTURE COLLECTION

新型コロナウイルスが世界規模で猛威を振るう中、7月6～8日の全日程をオンラインでの発表に切り替えた。参加ブランドはデジタルプラットフォームを通じてコレクションを発表。「GIORGIO ARMANI(ジョルジオ・アルマーニ)」や「GIVENCHY(ジバンシィ)」、52年ぶりにオートクチュールで作品を披露するはずだった「BALENCIAGA(バレンシアガ)」、ゲストデザイナーとして阿部千登勢が手掛ける予定だった「GAULTIER PARIS(ゴルチエ・パリ)」など、参加を見送ったブランドも見られたが、総勢33ブランドがパフォーマンスを披露した。無観客ショーやドキュメンタリー映像形式、イメージビデオ形式、デザイナーインタビューを投入したスタイルなど、メッセージ性の高い映像コンテンツに仕上がっている。これらの映像はアクセスの制限なしで一般公開された。



森英恵以来、史上二人目のパリオートクチュール組合の公式ゲストデザイナーとなった中里唯馬による「YUJIMA NAKAZATO(ユイマ・ナカザト)」。今シーズンは2020-2021秋冬の代替プロジェクトとして、「Face to Face」と題したドキュメンタリー映像を公開した。これはロックダウン状況下に始動した、顧客と一度も物理的に会うことなくオンラインツールを活用して一点物の衣服を作り上げるチャリティー・プロジェクト。対話を通じて得られたエピソードやインスピレーションをもとに、顧客が持っていた白いシャツを預かり、リネンを追加することによりフォルムの変更や、ニット、刺繍を施すなどの手仕事を経て、新たな洋服に仕立て上げている。

## Street Fashion

アウターがわりに着こなすスウェット&パーカに注目  
2020年10月 東京定点観測 (20分)

朝晩の冷え込みにより、秋の深まりが肌で感じられるようになった東京ストリート。最も目立ったのはオーバーサイズのスウェットシャツやパーカ、ざっくりとしたニットをアウター代わりに着用する人々。スウェット素材のアイテムは10~20代の若者層に人気が高く、胸元にアルファベットロゴをあしらったスウェットシャツや、チュニック風に着こなせるロングパーカがトレンドに浮上している。ニット類ではウエストのくびれないミドル丈のVネックニットドレスや、袖のないニットベスト、レッグ・オブ・マトンスリーブのニットトップスが台頭。ニットベストはサイドにスリットが入ったデザインで、白シャツの上から重ねて着用する。反面、ワンピース類はニット素材のものを除いて大きく減少。上下一体化したジャンパースカートは若干見られるものの、すっかり影を潜めている。一方、30代以上の中年層にはトレンチコートやライダーズジャケット、MA-1など軽めのアウターが人気。日中の暖かさからそこまで着込む必要がないため、アウターを脱ぎ、持って歩く姿も見られた。

ボトムスで勢いがあるのはミニタイトスカート。オーバーサイズのジャケットやスウェットシャツ、ミドル丈のブーツと一緒にコーディネートする姿が目立った。彼女たちの着こなしは80年代の安室奈美恵を彷彿とさせる。一方、くるぶしが隠れるマキシ丈のスカートはチュールスカート、プリーツスカート、フレアスカートなど、フェミニンに着こなせるデザインのもの好まれている。ワイドパンツは引き続き堅調に推移。デニムやウール、ジャカードなど厚手の素材のものにシフトしながら、今なお人気を保っている。反面、裾広がりのベルボトムパンツはそれほど着用されていない。

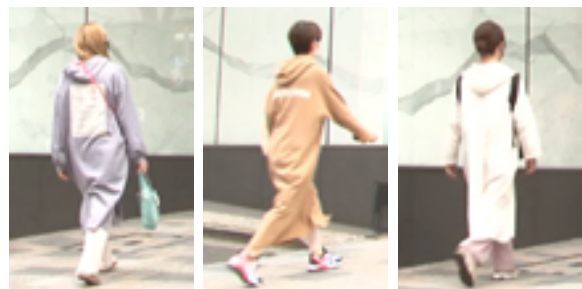
柄で注目したいのはレオパード。ストールからバッグ、パンツ、ジャケットにいたるまで幅広いアイテムでレオパード柄が登場している。秋冬シーズンになると増加し始めるチェックは、定番のタータンよりタッタソールの人気が高い。

[2020年10月の注目アイテム] 観測日:2020年10月22日/曇り、表参道:気温21.1℃/湿度64%、原宿:気温19.8℃/湿度70%  
トップス:トレンチコート、アノラックジャケット、ライダーズジャケット、オーバーサイズボックスジャケット、キルティングジャケット、パーカ、MA-1、フリースジャケット、Gジャン、ニットカーディガン、ダウンベスト、ニットベスト、スウェットシャツ、フリルブラウス、ロングシャツ、フリルワンピース、ジャンパースカート、マキシ丈チュニック、ニットワンピース、スリッパドレス、フィールドシャツ、Tシャツ、クルーネックニット、タートルネックニット、ボートネックカットソー、Vネックカットソー、レッグ・オブ・マトンスリーブニット。  
ボトムス:タイトミニスカート、ワイドパンツ、ベルボトムパンツ、クロップドパンツ、サロペット、タイニージーンズ、クラッシュジーンズ、チュールスカート、マキシ丈タイトスカート、マキシ丈プリーツスカート、ブラックタイツ、レースストッキング、ショートソックス。  
アクセサリ:リュック、ミニリュック、ビッグトート、斜めがけショルダーバッグ、ボディバッグ、キルティングバッグ、ミニポストノック、エコバッグ、スーツケース、ショートブーツ、ムートンブーツ、スニーカー、ハイカットスニーカー、ニーハイブーツ、ジョッキーブーツ、ストラップサンダル、ハイヒールパンプス、イヤーマフ、ストール、ニットマフラー、ベレー帽、キャスケット、ハンチング帽、キャップ、つば広フェルトハット、ニット帽、バケハ、マスク、日傘、幅広レザーベルト。  
カラー&プリント:カラー/ブラック、チャコールグレー、ライトグレー、オフホワイト、ベージュ、ブラウン、ネイビー、カーキ、ダルピンク、マスタードイエロー、レッド、ブルーグレー、ターコイズブルー、ボルドー、ダークグリーン、シルバー、プリント/レオパード、カウスポット、パイソン、ボーダー、タッタソールチェック、グレンチェック、マドラスチェック、カモフラージュ、ドット、小花、サイケデリック。

mini tight skirt



hoodie



sweat top



knit dress



## Collection

---

- 2020-2021 秋冬 パリメンズコレクション (2020.03)
- 2020-2021 秋冬 ミラノメンズコレクション (2020.03)
- 2020-2021 秋冬 ニューヨークコレクション (2020.04)
- 2020-2021 秋冬 ミラノコレクション (2020.05)
- 2020-2021 秋冬 パリコレクション (2020.06)
- 2020-2021 秋冬 ロンドンコレクション (2020.07)
- 2020-2021 秋冬 東京コレクション (2020.08)
- 2020-2021 秋冬 オートクチュールコレクション (2020.11) 
  
- 2020 春夏 ミラノメンズコレクション (2019.08)
- 2020 春夏 パリメンズコレクション (2019.09)
- 2020 春夏 ニューヨークコレクション (2019.11)
- 2020 春夏 ミラノコレクション (2019.12)
- 2020 春夏 パリコレクション (2020.01)
- 2020 春夏 東京コレクション (2020.02)
- 2020 春夏 オートクチュールコレクション (2020.04)
  
- 2019-2020 秋冬 パリメンズコレクション (2019.03)
- 2019-2020 秋冬 ミラノメンズコレクション (2019.03)
- 2019-2020 秋冬 ニューヨークコレクション (2018.04)
- 2019-2020 秋冬 ミラノコレクション (2018.05)
- 2019-2020 秋冬 パリコレクション (2018.06)
- 2019-2020 秋冬 ロンドンコレクション (2018.05)
- 2019-2020 秋冬 東京コレクション (2019.07)
- 2019-2020 秋冬 オートクチュールコレクション (2019.10)
  
- 2019 春夏 ミラノメンズコレクション (2018.09)
- 2019 春夏 パリメンズコレクション (2018.08)
- 2019 春夏 ミラノコレクション (2018.12)
- 2019 春夏 パリコレクション (2019.01)
- 2019 春夏 ニューヨークコレクション (2018.11)
- 2019 春夏 ロンドンコレクション (2018.11)
- 2019 春夏 東京コレクション (2019.02)
- 2019 春夏 オートクチュールコレクション (2019.04)
  
- 2018-2019 秋冬 ミラノメンズコレクション (2018.03)
- 2018-2019 秋冬 パリメンズコレクション (2018.03)
- 2018-2019 秋冬 ニューヨークコレクション (2018.04)
- 2018-2019 秋冬 ミラノコレクション (2018.05)
- 2018-2019 秋冬 パリコレクション (2018.06)
- 2018-2019 秋冬 東京コレクション (2018.07)
- 2018-2019 秋冬 オートクチュールコレクション (2018.10)
  
- 2018 春夏 ミラノメンズコレクション (2017.08)
- 2018 春夏 パリメンズコレクション (2017.09)

## Collection

---

- 2018 春夏 ニューヨークコレクション (2017.11)
- 2018 春夏 ミラノコレクション (2017.12)
- 2018 春夏 パリコレクション (2018.01)
- 2018 春夏 東京コレクション (2018.02)
- 2018 春夏 オートクチュールコレクション (2018.04)
  
- 2017-2018 秋冬 ミラノメンズコレクション (2017.03)
- 2017-2018 秋冬 パリメンズコレクション (2017.03)
- 2017-2018 秋冬 ミラノコレクション (2017.05)
- 2017-2018 秋冬 パリコレクション (2017.07)
- 2017-2018 秋冬 ニューヨークコレクション (2017.04)
- 2017-2018 秋冬 東京コレクション (2017.06)
- 2017-2018 秋冬 オートクチュールコレクション (2017.10)
  
- 2017 春夏 ミラノメンズコレクション (2016.09)
- 2017 春夏 パリメンズコレクション (2016.08)
- 2017 春夏 パリコレクション (2017.01)
- 2017 春夏 ミラノコレクション (2016.12)
- 2017 春夏 ニューヨークコレクション (2016.11)
- 2017 春夏 東京コレクション (2017.02)
- 2017 春夏 オートクチュールコレクション (2017.04)
  
- 2016-2017 秋冬 ミラノメンズコレクション (2016.03)
- 2016-2017 秋冬 パリメンズコレクション (2016.03)
- 2016-2017 秋冬 ミラノコレクション (2016.05)
- 2016-2017 秋冬 パリコレクション (2016.06)
- 2016-2017 秋冬 ニューヨークコレクション (2016.04)
- 2016-2017 秋冬 東京コレクション (2016.07)
- 2016-2017 秋冬 オートクチュールコレクション (2016.10)
  
- 2016 春夏 ミラノメンズコレクション (2015.09)
- 2016 春夏 パリメンズコレクション (2015.08)
- 2016 春夏 ミラノコレクション (2015.12)
- 2016 春夏 パリコレクション (2016.01)
- 2016 春夏 ニューヨークコレクション (2015.11)
- 2016 春夏 東京コレクション (2016.02)
- 2016 春夏 オートクチュールコレクション (2016.04)
  
- 2015-2016 秋冬 ミラノメンズコレクション (2015.03)
- 2015-2016 秋冬 パリメンズコレクション (2015.03)
- 2015-2016 秋冬 ミラノコレクション (2015.05)
- 2015-2016 秋冬 パリコレクション (2015.06)
- 2015-2016 秋冬 ニューヨークコレクション (2015.04)
- 2015-2016 秋冬 東京コレクション (2015.04)

## Collection

---

- 2015-2016 秋冬 オートクチュールコレクション (2015.10)
- 2015 春夏 ミラノメンズコレクション (2014.09)
- 2015 春夏 パリメンズコレクション (2014.08)
- 2015 春夏 ニューヨークコレクション (2014.11)
- 2015 春夏 ミラノコレクション (2015.01)
- 2015 春夏 パリコレクション (2015.02)
- 2015 春夏 ロンドンコレクション (2014.11)
- 2015 春夏 東京コレクション (2014.12)
- 2015 春夏 オートクチュールコレクション (2015.04)
  
- 2014-2015 秋冬 ミラノメンズコレクション (2014.03)
- 2014-2015 秋冬 パリメンズコレクション (2014.03)
- 2014-2015 秋冬 ミラノコレクション (2014.05)
- 2014-2015 秋冬 パリコレクション (2014.06)
- 2014-2015 秋冬 ニューヨークコレクション (2014.04)
- 2014-2015 秋冬 東京コレクション (2014.07)
- 2014-2015 秋冬 オートクチュールコレクション (2014.10)
  
- 2014 春夏 ミラノメンズコレクション (2013.08)
- 2014 春夏 パリメンズコレクション (2013.09)
- 2014 春夏 ミラノコレクション (2013.12)
- 2014 春夏 パリコレクション (2014.01)
- 2014 春夏 ニューヨークコレクション (2013.11)
- 2014 春夏 ロンドンコレクション (2013.11)
- 2014 春夏 東京コレクション (2014.02)
- 2014 春夏 オートクチュールコレクション (2014.04)
  
- 2013-2014 秋冬 ミラノメンズコレクション (2013.03)
- 2013-2014 秋冬 パリメンズコレクション (2013.03)
- 2013-2014 秋冬 ミラノコレクション (2013.05)
- 2013-2014 秋冬 パリコレクション (2013.06)
- 2013-2014 秋冬 東京コレクション (2013.07)
- 2013-2014 秋冬 オートクチュールコレクション (2013.10)
  
- 2013 春夏 ミラノメンズコレクション (2012.08)
- 2013 春夏 パリメンズコレクション (2012.09)
- 2013 春夏 ミラノコレクション (2013.12)
- 2013 春夏 パリコレクション (2013.01)
- 2013 春夏 ニューヨークコレクション (2012.11)
- 2013 春夏 東京コレクション (2013.02)
- 2013 春夏 オートクチュールコレクション (2013.04)
  
- 2012-2013 秋冬 オートクチュールコレクション (2012.10)

\*現在リリースされているコレクションは以下の通りです。収録時間は各5分。  
その他のコレクションに関しては、ログイン後のリストをご参照ください。

## Trend Analysis

- Back to the 90s - Dandyism - (2020.11)
- Back to the 90s - Masculine / Hippy - (2020.10)
- Back to the 90s - British / Ethnic - (2020.09)

## Fashion Seminar

- FASHION SEMINAR 「2021 春夏 カラートレンド詳報」 (2020.06)
- FASHION SEMINAR 「2021 春夏 素材展速報 (プルミエール・ヴィジョン)」 (2020.05)
- FASHION SEMINAR 「2020-2021 秋冬 カラートレンド詳報」 (2019.12)
- FASHION SEMINAR 「2020-2021 秋冬 素材展速報 (プルミエール・ヴィジョン)」 (2019.11)
- FASHION SEMINAR 「2020 春夏 カラートレンド詳報」 (2019.05)
- FASHION SEMINAR 「2020 春夏 素材展速報 (プルミエール・ヴィジョン)」 (2019.04)
- FASHION SEMINAR 「2019-2020 秋冬 カラートレンド詳報」 (2018.12)
- FASHION SEMINAR 「2019-2020 秋冬 素材展速報 (プルミエール・ヴィジョン)」 (2018.11)
- FASHION SEMINAR 「2019 春夏 カラートレンド詳報」 (2018.05)
- FASHION SEMINAR 「2019 春夏 素材展速報 (プルミエール・ヴィジョン)」 (2018.04)
- FASHION SEMINAR 「2018-2019 秋冬 カラートレンド詳報」 (2017.12)
- FASHION SEMINAR 「2018-2019 秋冬 素材展速報 (プルミエール・ヴィジョン)」 (2017.11)
- FASHION SEMINAR 「2018 春夏 カラートレンド詳報」 (2017.05)
- FASHION SEMINAR 「2018 春夏 素材展速報 (プルミエール・ヴィジョン)」 (2017.04)
- FASHION SEMINAR 「2017-2018 秋冬 カラートレンド詳報」 (2016.12)
- FASHION SEMINAR 「2017-2018 秋冬 素材展速報 (プルミエール・ヴィジョン)」 (2016.11)
- FASHION SEMINAR 「2017 春夏 カラートレンド詳報」 (2016.05)
- FASHION SEMINAR 「2017 春夏 素材展速報 (プルミエール・ヴィジョン)」 (2016.04)
- FASHION SEMINAR 「2016-2017 秋冬 カラートレンド詳報」 (2015.12)
- FASHION SEMINAR 「2016-2017 秋冬 素材展速報 (プルミエール・ヴィジョン)」 (2015.11)
- FASHION SEMINAR 「2016 春夏 カラートレンド詳報」 (2015.05)
- FASHION SEMINAR 「2016 春夏 素材展速報 (プルミエール・ヴィジョン)」 (2015.04)
- FASHION SEMINAR 「2015-2016 秋冬 カラートレンド詳報」 (2014.12)
- FASHION SEMINAR 「2015-2016 秋冬 素材展速報 (プルミエール・ヴィジョン)」 (2014.11)
- FASHION SEMINAR 「2015 春夏 カラートレンド詳報」 (2014.05)
- FASHION SEMINAR 「2015 春夏 素材展速報 (プルミエール・ヴィジョン)」 (2014.04)
- FASHION SEMINAR 「2014-2015 秋冬 カラートレンド詳報」 (2013.12)
- FASHION SEMINAR 「2014-2015 秋冬 素材展速報 (プルミエール・ヴィジョン)」 (2013.11)
- FASHION SEMINAR 「2014 春夏 カラートレンド詳報」 (2013.05)
- FASHION SEMINAR 「2014 春夏 素材展速報 (プルミエール・ヴィジョン)」 (2013.04)
- FASHION SEMINAR 「2013-2014 秋冬 カラートレンド詳報」 (2012.12)
- FASHION SEMINAR 「2013-2014 秋冬 素材展速報 (プルミエール・ヴィジョン)」 (2012.11)
- FASHION SEMINAR 「2013 春夏 カラートレンド詳報」 (2012.05)
- FASHION SEMINAR 「2013 春夏 素材展速報 (プルミエール・ヴィジョン)」 (2012.04)



\*現在リリースされているコレクションは以下の通りです。収録時間は各5分。  
その他のコレクションに関しては、ログイン後のリストをご参照ください。

## Fashion Report

- ・ TOKYO LEATHER PIGSKIN 2020 -PIGGY'S SPECIAL - (2020.02)
- ・ 2019-2020 CHIE IMAI CHARITY COLLECTION (2019.10)
- ・ TOKYO LEATHER PIGSKIN 2019 -PIGGY'S SPECIAL - (2019.01)
- ・ 2017-2018 CHIE IMAI CHARITY COLLECTION - MOSAIQUE de CHIE Blueberry fields forever- (2018.10)
- ・ JFW-JC 2018 PIGGY'S SPECIAL PIGSKIN FASHION SHOW (2018.01)
- ・ 2017-2018 CHIE IMAI CHARITY COLLECTION - MOSAIQUE de CHIE Flying - (2017.10)
- ・ JFW-JC 2017 PIGGY'S SPECIAL PIGSKIN FASHION SHOW (2017.01)
- ・ 2016-2017 ROYAL CHIE COLLECTION - MOSAIQUE de CHIE Sunshine - (2016.10)
- ・ JFW-JC 2016 PIGGY'S SPECIAL PIGSKIN FASHION SHOW (2016.01)
- ・ 2015-2016 ROYAL CHIE COLLECTION - MOSAIQUE de CHIE Rebirth - (2015.10)
- ・ JFW-JC 2015 - PIGGY'S SPECIAL FASHION SHOW- (2015.01)
- ・ 2014-2015 ROYAL CHIE COLLECTION - MOSAIQUE de CHIE Soaring - (2014.10)
- ・ JFW JAPAN CREATION 2014 - PIGGY'S SPECIAL ピッグスキンファッションショー - (2014.01)
- ・ 2013-2014 ROYAL CHIE COLLECTION - MOSAIQUE de CHIE 彩 - (2013.10)
- ・ L'OREAL 50th ANNIVERSARY CELLEBRATION - さらなる美を求めて - (2013.09)
- ・ 2013 春夏トレンド・キーワード (2013.02)
- ・ JFW JAPAN CREATION 2013 - PIGGY'S SPECIAL ピッグスキンファッションショー - (2013.01)
- ・ 2012-2013 ROYAL CHIE COLLECTION - MOSAIQUE de CHIE Dragon - (2012.10)
- ・ BIFF & BIL 2012 Fashion Show (2012.09)

## Street Fashion

- ・ 2020年 10月 東京定点観測 -表参道/原宿 - (2020.11)
- ・ 2020年 9月 東京定点観測 -表参道/原宿 - (2020.10)
- ・ 2020年 8月 東京定点観測 -表参道/原宿 - (2020.09)
- ・ 2020年 7月 東京定点観測 -表参道/原宿 - (2020.08)
- ・ 2020年 6月 東京定点観測 -表参道/原宿 - (2020.07)
- ・ 2020年 3月 東京定点観測 -表参道/原宿 - (2020.04)
- ・ 2012年 1月～2020年 2月 東京定点観測 -表参道/原宿 - (2012.2～2020.03)

## next release

\* 次回は2020年12月10日リリース予定です。

\* 新型コロナウイルス対策のため、番組が変更になる場合がございます。

### Collection

- ・ 2021 春夏 ミラノメンズコレクション

### Trend Seminar

- ・ 2021-2022 秋冬 テキスタイルトレンド速報

### Street Fashion

- ・ 2020年 11月 東京定点観測